

八街市電子調達システム運用基準

1 総則

1-1 趣旨

この運用基準は、八街市電子調達システムの適切かつ円滑な運用を図るため関係法令、八街市財務規則（平成5年規則第14号）及び八街市電子入札約款（平成25年月 日施行）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

1-2 用語の意義

(1) 八街市電子調達システム

八街市の発注する建設工事、製造の請負、測量及び設計等の委託、物品の購入、物品の借り入れ並びに役務の提供に係る入札を処理するシステムで、電子入札システム、入札情報サービス及び入札参加資格申請システムで構成される。

なお、八街市電子調達システムは、「ちば電子調達システム」を利用するものとする。

(2) 電子入札システム

入札案件の登録から参加申請書、入札書の提出や受理並びに落札者決定までの事務（以下「入開札事務」という。）をコンピュータとネットワーク（インターネット等）を利用して処理するシステムをいう。

(3) 入札情報サービス

発注見通し、入札公告及び入札結果等に関する電子入札の情報をインターネット上に公表するシステムをいう。

(4) 入札参加資格申請システム

入札参加希望業者が入札に参加するため、入札参加資格者名簿へコンピュータとネットワーク（インターネット等）を利用して登録申請を行うシステムをいう。

(5) 入札参加資格者名簿

八街市入札参加資格者名簿をいう。

(6) 電子入札

この運用基準において、電子入札システムにより処理する入開札事務をいう。

(7) 紙入札

紙に記載した一般競争入札参加資格確認申請書、入札書及び内訳書等を使用して行う入開札事務をいう。

(8) 電子入札業者

この運用基準において、電子入札システムに参加する入札参加者をいう。

(9) 紙入札業者

紙に記載した一般競争入札参加資格確認申請書、入札書及び内訳書等を使用して行う入札参加者をいう。

(10) ICカード

ちば電子調達システムを利用できる認証局（以下「認証局」という。）が発行した電子証明書（情報の発信者が本当に本人であることを受信者に証明する電子的な証明書でインターネット上の身分証明書として利用するもの。以下同じ）を格納したICカード（以下「ICカード」という。）をいい、電子入札業者と八街市の双方でICカードを使用した情報のやり取りを行う。

インターネットなどを利用した電子文書のやりとりで、成りすましや改ざんを防止するために使用される。

(11) 電子くじ

電子入札システムにおいて、くじの公平性を保つため、電子入札業者が入力した任意の数値（くじ入力番号）と処理時刻を用いた演算式により、コンピュータで落札者を決定する機能をいう。

2 共通事項

2-1 電子入札システムについて

電子入札システムとは、入札手続き及びこれに関連する情報公表等をインターネット技術等を利用して行うシステムである。その導入の目的は、入札過程におけるコストの縮減、透明性の向上、入札及び契約事務の合理化等である。

このシステムは、八街市が案件の登録、入札参加資格確認申請書、入札書等の受付確認及び通知、開札執行及び開札結果の通知などを行う「発注者機能」、電子入札業者が入札書の提出などを行う「受注者機能」、電子データの授受、非改ざん等を保証する「電子認証機能」等から構成される。

2-2 電子入札システムの利用者について

電子入札システムを利用する者は、認証局が発行した I C カードを取得し、入札参加資格者名簿に登載された者とする。

2-3 対象入札方式

電子入札システムの対象入札方式は、次の入札方式とする。

① 一般競争入札方式

2-4 対象入札案件

この基準は、八街市が電子入札により発注する、建設工事、製造の請負、測量及び設計等の委託、物品の購入、物品の借り入れ並びに役務の提供の調達案件に適用する。

この基準を適用する入札にあっては、原則として全ての入札参加者が電子入札システムにより電子入札を行うものとする。

2-5 入札情報サービスについて

入札情報サービスとは、調達案件や入札結果等の入札に関する情報をインターネット上に公表するシステムである。その導入の目的は、入札参加者及び市民が誰でも情報にアクセスできるようにし、電子入札における透明性の向上を図るものである。

2-6 入札参加資格申請システムについて

入札参加資格申請システムとは、インターネット上で入札参加資格登録を行うシステムである。その導入の目的は、書類作成及び本市窓口への来庁負担軽減等である。

2-7 電子調達システムに関する問い合わせについて

八街市は、電子調達システムを利用する利用者に対し、円滑にシステムを運用するため、ちば電子調達システムサポートデスクを利用するものとする。

ちば電子調達システムサポートデスクの受付時間は、県の休日（千葉県の休日に関する条例（平成1年千葉県条例第1号）に定める休日）を除く平日9：00から17：00までとする。

2-8 電子調達システムの運用時間

電子入札システム、入札情報サービス及び入札参加資格申請システムの運用日は、原則として無休とし、運用時間は、次のとおりとする。

対象者	電子入札システム	入札情報サービス	入札参加資格申請システム
受注者	8：00 ～24：00	0：00 ～24：00	8：00 ～24：00
	(県の休日を含む)		

ただし、システムメンテナンス等により電子調達システムを停止できるものとする。

その場合、ちば電子調達システム受注者ポータルサイトにおいて当該情報を公表するため、入札参加者は最新の情報に留意するものとする。

3 電子入札システム

3-1 I C カードの取扱いについて

3-1-1 利用者登録について

電子入札業者は、初めて電子入札システムを利用する場合及び新しく I C カードを取得した場合、電子入札システムの利用者登録を行うものとする。

利用者登録は、入札参加資格者名簿と I C カードの情報が一致していなければならない。ただし、発注者が認める場合は、この限りでない。

3-1-2 利用者登録内容の変更について

電子入札業者は、電子入札利用者登録事項に変更が生じた場合、速やかに登録内容の変更を行うものとする。ただし、発注者が認める場合は、この限りでない。変更内容は以下のものとする。

(企業情報)

- ① 電話番号
- ② F A X 番号
- ③ 部署名

(代表窓口情報及び I C カード利用部署情報)

- ① 連絡先名称 (部署名)
- ② 連絡先郵便番号
- ③ 連絡先住所
- ④ 連絡先氏名
- ⑤ 連絡先電話番号
- ⑥ 連絡先 F A X 番号
- ⑦ 連絡先メールアドレス

3-1-3 I C カードの名義人について

I C カードの名義人 (商号又は名称、住所を含む。以下同じ。) は、八街市入札参加資格審査を申請した代表者又は代理人 (年間委任状における入札に関する権限の受任者とする。以下同じ。) とする。ただし、代理人は代表者の I C カードを利用できるものとする。

なお、名義人の変更等の事由が発生した場合、必要に応じて再取得の手続きを行うものとする。

3-1-4 I C カードの複数枚の登録について

電子入札業者は、I C カードの喪失又は破損等に備えて、予備の I C カードを購入し、あらかじめ利用者登録を行うことを推奨する。

3-1-5 I C カードの更新について

電子入札業者は、使用している I C カードの有効期限切れが間近の場合、I C カードの更新を行うものとする。

また、I C カードの更新は、旧 I C カードの有効期限内に限り実施可能なものとする。

ただし、更新のための新規 I C カードは、「I C カード企業名称」「I C カード取得者氏名」「I C カード取得者住所 (ローマ字表記)」「所属組織の本店所在地」のカード登録内容のすべてが旧 I C カードと一致するものとする。

I C カードの更新後、旧 I C カードは有効期限内であっても利用不可能となるため注意するものとする。

3-1-6 I C カードの失効について

電子入札業者は、以下に示す事象が発生した場合、I C カードが失効となるため、速やかに認証局へ I C カードの失効申請を行うものとし、必要に応じて再取得の手続きをとるものとする。

- ① 紛失、盗難
- ② 破損
- ③ 利用中止
- ④ I C カードがロックした時 (I C カード用 P I N の誤入力)
- ⑤ 名義人となっている代表者を変更した時
- ⑥ 以下に示す、電子証明書情報を変更した時
 - ・ I C カード企業名称
 - ・ I C カード取得者氏名
 - ・ I C カード取得者住所
 - ・ 所属組織の本店所在地(登記簿事項証明書記載の本店住所が変更となった場合のみ)
- ⑦ 利用者が退職した時

3-1-7 入札参加中の I C カードの取扱い

電子入札業者は、入札参加申込みから開札手続きが終了するまで同一の I C カードを使用し、開札予定日前に I C カードの有効期限が切れることのないよう注意するものとする。

3-1-8 特定建設工事共同企業体におけるＩＣカードの取扱い

特定建設工事共同企業体用に使用できるＩＣカードは、特定建設工事共同企業体の構成員の代表者（入札参加資格者名簿に登載されている者）又は代理人のＩＣカードとする。

3-2 対象入札案件の取扱いについて

3-2-1 一般競争入札参加資格確認申請書等の提出について

入札参加希望者は、電子入札案件について、一般競争入札参加資格確認申請書等の提出を電子入札システムで行わなければならない。

入札参加希望者は、一般競争入札参加資格確認申請書等の提出について入札参加申込締切日時（締切日時直前）から相当な期間余裕をもって提出するものとする。

ただし、紙入札業者として入札に参加する場合は、3-7の規定によるものとする。

3-2-2 一般競争入札参加資格確認申請書等の提出後の辞退について

入札参加者は、入札参加者の都合により、一般競争入札参加資格確認申請書等の提出後、入札書の提出前に入札を辞退する場合、入札書受付締切予定日時までに電子入札システムにより辞退の理由を明記した辞退届を提出するものとする。

ただし、紙入札業者の場合は、入札辞退届を入札執行担当課へ持参により提出するものとする。

3-2-3 入札参加申込締切日時を変更した場合について

八街市の都合により入札参加申込締切日時を変更した場合、八街市ホームページにおいて速やかに公表するため、入札参加者は最新の情報に留意するものとする。

3-2-4 案件が変更された場合について

八街市の都合により調達案件情報を修正した場合、入札参加申込をした者に対し電話等により連絡するとともに、八街市ホームページにおいて速やかに公表するため、入札参加者は最新の情報に留意するものとする。

3-2-5 案件が取り消しされた場合について

八街市の都合により入札参加申込締切日時前、入札書受付締切予定時刻前及び開札前に調達案件を取り消した場合、既に提出済みの一般競争入札参加資格確認申請書、入札書等は無効とし、電子入札システムにより、入札参加申込をした者に対し中止通知書を発行するものとする。

入札参加者は、電子入札システムより速やかに中止通知書の内容を確認するものとする。

3-3 添付資料の取扱いについて

3-3-1 必要書類の添付について

一般競争入札参加資格確認申請書等の必要書類等は、電子入札システムの添付機能を利用して電子ファイルで添付するものとし、そのファイル容量は3MB以内とする。

なお、その他必要とする添付書類がある場合は、入札公告にその旨を記載するものとする。

添付する書類の作成ツールは次のとおりとする。

No.	使用アプリケーション	保存するファイル形式
1	Microsoft Word	doc形式、docx形式
2	Microsoft Excel	xls形式、xlsx形式
3	PDF ファイル	バージョン1.6以下の形式
4	テキストファイル	txt 形式
5	画像ファイル	jpeg形式、tiff形式、gif形式

注：ファイル名に半角の「&」、「、」は利用できませんので注意してください。

3-3-2 ファイルの圧縮形式について

ファイルの圧縮形式は、zip又はlzh形式に限定し、自己解凍形式（exe形式）は無効とする。

3-3-3 ウィルス対策について

入札参加者は、ウィルス対策用のアプリケーションソフトを導入の上、常に最新のパターンファイルを適用し、書類を作成、添付する際に、必ずウィルス感染のチェックを行うものとする。

八街市は、添付された書類にウィルス感染があった場合、速やかに当該書類を添付した者に連絡し警告するとともに、対応（書類の提出方法等）について協議するものとする。

3-3-4 必要書類の再提出について

一般競争入札参加資格確認申請書等に添付した書類に誤り等があり、かつ八街市から受付票が発行されていないときは、参加申込締切日時までに電話で再提出の申し入れを行い、承認を得たものに限り必要書類の再提出ができるものとする。

また、八街市において、受付票発行前に入札参加者の申請書等に明らかな誤り、記載漏れ、不足等が確認された場合は、電話にて連絡を行い、再提出を求めることがある。

再提出は、入札参加者が電子入札システム又は持参等により行うものとする。この場合において、再提出をしない入札参加者は入札参加を取り下げたものとして取り扱うものとする。

3-3-5 電子入札システムで添付できない必要書類の提出について

添付する書類のサイズが3MBを超える場合、別途指定がある場合及び添付することが困難な書類にあっては、郵送又は持参により提出するものとする。

この場合、「提出書類一覧表」（様式1）を電子入札システムの添付機能を利用して電子ファイルで送信した後、次により郵送又は持参により提出するものとする。

- ① 提出する書類は、電子入札システムの競争入札参加申込書提出完了確認画面を印刷したもの及び当該提出に係る必要書類一式とし、電子入札システムでの提出との分割は認めない。
- ② 郵送の場合は、書留郵便を利用するものとする。
- ③ 提出先は、入札執行担当課とする。
- ④ 提出期限は、電子入札システムの提出期限と同一とし、八街市は必要な関係書類をすべて受理した時点で、電子入札システムにより競争参加資格確認申請書受付票を発行するものとする。

※事後審査方式により入札を執行する場合において、3-2-1から3-3-5までの入札参加資格審査申請書等の取り扱い基準については、この限りでない。

3-4 入札書の取扱いについて

3-4-1 入札書の提出について

入札参加者は、電子入札案件について、電子入札システムを利用して入札書の提出を行わなければならない。

入札書の提出期限は、あらかじめ設定した入札書受付締切予定日時をもって、電子入札システムにより締め切るものとする。

以降八街市は、いかなる場合においても入札書受付締切後は、入札書を受付けないものとする。

入札書受付締切予定日は、入札書受付開始予定日の翌日以降とし、開札予定日は、入札書受付締切予定日の翌日を標準とする。

ただし、入札書受付締切予定日時の翌日が休日（土日祝日及び年末年始を含む）の場合、休日の次の平日とする。

入札参加者は、入札書受付締切予定日時（締切日時直前）から相当な期間余裕を持って、入札書を提出するものとする。

ただし、紙入札業者として入札に参加する場合は、3-7の規定によるものとする。

3-4-3 入札書受付締切予定日時を変更した場合について

八街市の都合により入札書受付締切予定日時を変更する場合、電子入札システムにより、入札参加者に対し日時変更通知書を発行するものとする。

入札参加者は、電子入札システムより速やかに日時変更通知書の内容を確認するものとする。

3-4-4 入札書提出後の辞退について

入札参加者は、入札参加者の都合により、入札書の提出後に入札を辞退する場合、開札開始予定日時までに入札辞退届を入札執行担当課へ提出するものとする。

3-4-5 入札書未提出の取扱いについて

入札参加者が、入札書受付締切予定日時までに入札書の提出を行わず、かつ開札開始予定日時までに入札辞退届の提出を行わなかった場合、「未入札」として取り扱うものとする。

※事後審査方式により入札を執行する場合においてはこの限りでない。

3-5 内訳書の取扱いについて

3-5-1 内訳書の添付について

入札参加者は、入札公告の規定により内訳書等を添付する案件については、電子入札システムの添付機能を利用して電子ファイルで添付するものとし、そのファイル容量は3MB以内とする。内訳書は、「案件名称」及び「商号又は名称」を記載しなければならない。

添付する書類の作成ツールは次のとおりとする。

No.	使用アプリケーション	保存するファイル形式
1	Microsoft Word	doc形式、docx形式
2	Microsoft Excel	xls形式、xlsx形式
3	PDF ファイル	バージョン1.6 以下の形式
4	テキストファイル	txt 形式
5	画像ファイル	jpeg形式、tiff形式、gif 形式

注：ファイル名に半角の「&」、「、」は利用できませんので注意してください。

3-5-2 ファイルの圧縮形式について

ファイルの圧縮形式は、zip又はlzh形式に限定し、自己解凍形式（exe形式）は無効とする。

3-5-3 ウィルス対策について

入札参加者は、ウィルス対策用のアプリケーションソフトを導入の上、常に最新のパターンファイルを適用し、書類を作成及び添付する際に、必ずウィルス感染のチェックを行うものとする。

八街市は、添付された書類にウィルス感染があった場合、速やかに当該書類を添付した者に連絡し警告するとともに、対応（書類の提出方法等）について協議するものとする。

3-5-4 電子入札システムで添付できない内訳書の提出について

入札参加者は、添付する内訳書のサイズが3MBを超える場合、別途指定がある場合及び添付することが困難な場合にあつては、郵送又は持参により提出するものとする。

この場合、「提出書類一覧表」（様式1）を電子入札システムの添付機能を利用して電子ファイルで送信した後、次の手順により郵送又は持参で提出するものとする。

- ① 二重封筒とすること。
- ② 中封筒に内訳書を入れ、その表に内訳書在中の旨並びに件名を記入すること。
- ③ 表封筒に「入札書受信確認通知」を印刷したもの及び中封筒を入れること。
- ④ 郵送の場合は、書留郵便を利用するものとする。
- ⑤ 提出先は、入札執行担当課とする。
- ⑥ 提出期限は、電子入札システムの提出期限と同一とする。

3-6 開札について

3-6-1 開札方法について

八街市は、事前に設定した開札予定日時後に、速やかに開札を行うものとする。

ただし、紙入札業者がいる場合は、開札宣言後、紙媒体の入札書を開封し、その内容を電子入札システムに登録後、電子入札書を一括開封し落札者又は事後審査方式の場合は落札候補者の決定を行うものとする。

3-6-2 開札時の立ち会いについて

入札参加者は、開札に立ち会うことができるものとする。立ち会いを希望する場合は、開札日前日までに八街市に連絡するものとする。

なお、代表者以外の者が立ち会う場合は、立会委任状（様式2）を開札時に提出

するものとする。

開札の立ち会いを希望する者がいない場合は、当該入札事務に関係のない職員を立ち合わせるものとする。

3-6-3 落札者及び落札候補者の決定について

八街市は、落札者が決定した場合、電子入札システムにより、入札参加者全員に落札者決定通知書を発行するものとする。

入札参加者は、電子入札システムにより速やかに落札者決定通知書の内容を確認するものとする。

ただし、落札候補者が決定した場合、当該候補者の入札参加資格の事後確認を行なうため、落札決定を保留するものとし、電子入札システムにより入札参加者全員に電子メールにて保留通知書を発行するものとする。この場合、落札候補者が、事後審査により落札者と決定した場合、電子入札システムにより、入札参加者全員に落札者決定通知書を発行するものとする。

ただし、紙入札業者に対しては別途連絡するものとする。

3-6-4 くじになった場合の取扱い

八街市は、落札となるべき同価格の入札参加者が二人以上あり、くじにより落札者及び落札候補者の決定を行うこととなった場合、直ちに電子入札システムにおいて電子くじを実施し落札者又は落札候補者を決定するものとする。

なお、落札候補者の場合は3-6-3の規定を準用する。

紙入札業者については、入札書に記載したくじ番号を八街市が入力するものとする。入札書にくじ番号の記載がない場合には、電子入札システムのくじ番号自動生成機能により生成した番号をくじ番号とする。

3-6-5 入札の保留について

八街市は、入札を保留する場合、電子入札システムより、入札参加者全員に保留通知書を発行するものとする。入札参加者は、電子入札システムより速やかに保留通知書の内容を確認するものとする。

ただし、紙入札業者に対しては別途連絡するものとする。

3-6-6 開札の延期について

八街市は、開札を延期する場合、電子入札システムから電子メールにより、入札参加者全員に日時変更通知書を発行するものとする。

入札参加者は、電子入札システムより速やかに日時変更通知書の内容を確認するものとする。

ただし、紙入札業者に対しては別途連絡するものとする。

3-6-7 入札の取りやめについて

八街市は、入札不調等により入札を取りやめする場合、電子入札システムから電子メールにより、入札参加者全員に取止め通知書を発行するものとする。

入札参加者は、電子入札システムより速やかに取止め通知書の内容を確認するものとする。

ただし、紙入札業者に対しては別途連絡するものとする。

3-6-8 入札結果公表について

八街市は、開札を行った場合、入札結果を電子入札システムにおいて速やかに公表するため、入札参加者は最新の情報に留意するものとする。

また、八街市は入札情報サービスにより速やかに入札結果を参照できるようにするものとする。

3-7 電子入札案件に紙入札業者として参加する場合

3-7-1 紙入札業者として参加を認める場合の条件について

八街市は、次の事由に該当する場合に限り、紙入札業者による入札参加を認めるものとする。

ただし、紙入札業者として入札参加申込をした後の電子入札業者への変更は認めないものとする。

① 電子入札導入のため、ICカード発行の申請中の場合

② ICカードの記載事項（名義人等）の変更により電子入札システムが利用できない場合

③ ICカードの失効及び破損等でICカードが使用できなくなり、ICカード再発行の申請中の場合

④ パソコン、インターネット環境等のシステム障害及びやむを得ないと認められる事由により、入札締切日時までに入札書が提出できない場合

⑤ その他、八街市がやむを得ないと認めた場合

3-7-2 紙入札業者として参加する場合の取扱いについて

入札参加者は、紙入札業者として入札に参加する場合、入札参加申込締切日時までに「電子入札案件紙入札参加届出書」（様式3）を入札執行担当課へ提出するものとする。

また、電子入札業者として入札に参加したのち、前項②、③及び④の理由により、電子入札システムを利用できない場合、入札書受付締切予定日時までに「電子入札案件紙入札参加届出書」（様式3）を入札執行担当課へ持参し提出するものとする。

ただし、事後審査方式により入札を執行する場合は、入札公告記載の日時までに「電子入札案件紙入札参加届出書」（様式3）を入札執行担当課へ持参し提出するものとする。

3-7-3 紙入札業者における一般競争入札参加資格確認申請書等の提出方法について

紙入札業者として入札に参加する場合の一般競争入札参加資格確認申請書及び添付書類は、原則として郵送又は持参により入札執行担当課へ提出するものとする。提出期限は電子入札システムと同一とする。

※事後審査方式により入札を執行する場合においてはこの限りでない。

3-7-4 紙入札業者の提出期限及び提出場所について

紙業者として入札に参加する場合の入札書（様式4）及び入札金額内訳書（当該入札公告で入札金額内訳書の提出が義務付けられている場合のみ）は、次により郵送で提出するものとする。

- ① 封筒に入札書及び入札金額内訳書を入れ、封筒表面には、「入札書在中」と明記し、封筒表面には、「事業名称」、「事業場所」、「開札日時」、入札者の「所在地又は住所」及び「商号又は名称」を明記すること。
- ② 配達記録が残る書留郵便を利用すること。
- ③ 提出先は、入札執行担当課とする。
- ④ 提出期限は、電子入札システムの入札書の提出期限日必着とする。
- ⑤ 上記の規定にかかわらず、別途公告文に指定がある場合は、それに従うものとする。

4 入札情報サービス

4-1 案件公表の範囲

4-1-1 入札情報サービスの利用者について

入札参加者及び市民は、入札情報サービスを利用できるものとする。

4-1-2 対象案件の範囲

入札情報サービスへの公表対象案件は、八街市が発注する建設工事、製造の請負、測量及び設計等の委託、物品の購入、物品の借り入れ並びに役務の提供に係る電子入札の入札情報とする。

4-1-3 入札情報サービスの提供情報

入札情報サービスを使用して提供する情報については、ちば電子調達システム受注者ポータルサイトで明示する。

5 入札参加資格申請システム

5-1 利用者番号とパスワードの付与

利用者番号とパスワードの付与については、別に定めるものとする。

5-2 申請者の責任

5-2-1 利用者番号とパスワードの管理

申請者は、入札参加資格申請システムの利用の際に利用者番号及び本人が登録したパスワードについては自己の責任において厳重に管理し、パスワードについては定期的な変更により第三者への漏洩防止に努めることとする。

また、八街市は、申請、届出等について、厳重に管理された利用者番号及びパスワードを用いて、本人あるいは代理人により行われたものとして処理する。

5-2-2 利用者番号及びパスワードの紛失、盗難及び不正使用等

申請者は、利用者番号及びパスワードの紛失、盗難及び不正使用等が判明した場合は、速やかに八街市に通知する義務を負い、その指示に従うものとする。

5-2-3 障害等により利用できなくなった場合

申請者は、入札参加資格申請システムが障害等により利用できなくなった場合は、速やかに八街市に連絡する義務を負い、その指示に従うものとする。

5-2-4 住所等に変更があった場合

申請者は、住所又は所在地、氏名、商号又は名称及びEメールアドレス等に変更があった場合は、速やかに八街市が定める所定の変更手続きを行うものとする。

5-3 申請、届出等の委任による損害

委任に係る申請者もしくは他の第三者が被った損害については、八街市は一切の責任を負わないものとする。

6 システム障害等の取り扱いについて

6-1 八街市のトラブル

八街市は、八街市電子調達システム用サーバー又はネットワークなどに障害が発生し、入札事務が処理できないことが判明した場合、その原因、復旧見込み等を調査検討し、入札事務の延期又は紙入札への移行など運用の変更を行うものとする。

この場合、八街市は、状況に応じて八街市ホームページ、電子メール及び電話等の手段により入札参加者に連絡、公表するため、入札参加者は最新の情報に留意するものとする。

6-2 電子入札業者のトラブル

6-2-1 入札参加希望者がICカードを紛失又は破損した場合

入札参加希望者は、入札参加申請前にICカードを紛失又は破損した場合、速やかに認証局に電話連絡を行い、認証局の指示に従いICカードを無効とする申請及び再発行の手続きを行うものとし、ICカード再発行後、新たに利用者登録を行うものとする。

ICカードの再発行が間に合った場合又は予備のICカードが準備できている場合は、再発行後のICカード又は予備のICカードにより電子入札システムに参加するものとし、ICカードの再発行及び利用者登録が間に合わなかった場合は、速やかに3-7の規定により紙入札業者として入札に参加する手続きを行なうものとする。

6-2-2 入札参加者がICカードを紛失又は破損した場合

入札参加者は、入札参加途中にICカードを紛失又は破損した場合、予備のICカードにより現在参加中の電子入札案件に対して処理を継続して行うものとし、予備のICカードを準備できていない時は、速やかに3-7の規定により紙入札業者として入札に参加する手続きを行うものとする。

また、入札参加者は、速やかに認証局に電話連絡を行い、認証局の指示に従いICカードを無効とする申請及び再発行の手続きを行うものとし、ICカード再発行後、新たに利用者登録を行うものとする。

6-2-3 プロバイダ障害、回線障害及び認証局障害の場合

入札参加者は、プロバイダ障害、回線障害及び認証局障害の場合、インターネット接続業者又は認証局等に電話連絡を行い、障害の状況を調査し、長時間復旧の見込みがたたない時は、速やかに3-7の規定により電子入札業者から紙入札業者へ移行手続きを行うものとする。

また、入札参加希望者は、電子入札参加前に、インターネット接続業者又は認証局等のホームページにアクセスし、サービスの運用状況等のチェックを行うものとする。

6-2-4 停電が起こった場合

入札参加者は、天災、電力会社の原因による広域的、地域的な停電が発生した場合、テレビ、ラジオ等のメディア情報により、復旧の状況を調査し、長時間復旧の見込みがたたない時は、速やかに3-7の規定により電子入札業者から紙入札業者へ移行手続きを行うものとする。

6-2-5 機器類（パソコン等）に障害が起こった場合

入札参加者は、機器類（パソコン等）に障害が起こった場合、直ちに障害の状況を調査し、長時間復旧の見込みがたたない時、又は代替機器を準備できない時は、速やかに3-7の規定により電子入札業者から紙入札業者へ移行手続きを行なうものとする。

とする。

6-2-6 その他の場合

入札参加者は、上記以外の事象により電子入札システムに参加できなくなった場合、又は、電子調達システムに関する質問等がある場合、ちば電子調達システム受注者ポータルサイトに掲載してある、「よくある質問」を参照し、該当事例がある場合は、その対応方法に従い対応するものとする。

また、上記により対応できない場合は、八街市（又はちば電子調達システムサポートデスク）に電話連絡を行い、その指示に従い対応するものとする。

7 不正行為等の取り扱いについて

7-1 ICカードを不正使用等した場合の取扱いについて

八街市は、入札参加者が次に掲げる場合その他ICカードを不正に使用等した場合には、当該入札参加者の指名を取り消す等、当該入札への参加を認めないことができるものとする。

落札後に不正使用等が判明した場合には、契約締結前であれば、契約締結を行わないことができるものとする。

また、契約締結後に不正使用等が判明した場合には、事業の進捗状況等を考慮して契約を解除するか否かを判断するものとする。

不正に使用等した場合の例示

- ① 他人のICカードを不正に取得し、名義人に成りすまして入札に参加した場合
- ② 代表者又は利用者に関する情報に変更となっているにもかかわらず、変更前の代表者又は利用者のICカードを使用して入札に参加した場合
- ③ 同一案件に対して、故意に複数のICカードを使用して複数の参加申請書や入札書を提出して入札に参加した場合

7-2 添付された書類にウィルス感染があった場合

3-3-3 又は3-5-3 の規定により、八街市が警告したにも関わらず有効な処置を講じることなく、再度ウィルスに感染した書類を添付した者については、指名停止等の措置を行うものとする。

8 免責事項

8-1 八街市電子調達システムの改修、運用の停止等

八街市は、必要があると認めるときは、八街市電子調達システムの改修、運用の停止、中止、中断を予告なく行うことができることとする。この場合において発生した利用者の損害について、八街市は一切の責任を負わないものとする。

8-2 八街市電子調達システム運用基準の変更

八街市は、利用者への事前の通知を行うことなく八街市電子調達システム運用基準を変更できるものとする。利用者は、利用の都度、運用基準を確認することとし、運用基準変更後に八街市電子調達システムを利用した場合は、変更後の運用基準に同意したものとみなす。

附 則

- 1 この基準は、平成26年2月17日から施行する。